国際ロータリー第2780地区第1ｸﾞﾙｰﾌﾟ　WEEKLY REPORT MIURA RC

三浦ロータリークラブ週報

２００９年　９月　３日 第２３３６回 例会

2009～'10年度 国際ロータリーの テーマ

◇ 国際ロータリー会長
　ジョン・ケニー（スコットランド、グランジマウス）
◇ 国際ロータリー第2780地区ガバナー
　奥　津　光　弘（秦野中ＲＣ）
◇ 国際ロータリー第2780地区第1ｸﾞﾙｰﾌﾟ
　ｶﾞﾊﾞﾅｰ補佐　佐久間　博　一（横須賀ＲＣ）
◇ 三浦ロータリークラブ
　会　長　笠　倉　正　弘
　副会長　秋　本　清　道
　幹　事　菊　池　　恵
◇ 広報委員会（広報.雑誌.ＩＴ）
　委員長　荒　　宏　昭
　副委員長　芹　川　直　行
　事務局　山　田　　香
◇ 例会日　毎 週 木曜日 12 時 30 分 点鐘
◇ 例会場　三浦商工会議　3 階 ホール
◇ 例会場所＆事務所住所
　〒238-0243 三浦市三崎2丁目22番16号
◇ＴＥＬ 046(881)5111㈹ ＊ＦＡＸ 046(881)3346
◇ **Website ： http://www.miura-rc.jp**

ニコニコＢＯＸ集計報告

	本　日	前回迄	累　計
ニコニコ	2,000円	56,000円	58,000円
財　　団	1,000円	21,000円	22,000円
ポ リ オ	0円	6,000円	6,000円
米　　山	1,000円	21,000円	22,000円
周　　年	0円	1,000円	1,000円
計	4,000円	105,000円	109,000円

◇ 点 鐘　１２時３０分
◇ 国歌斉唱
◇ ロータリーソング『奉仕の理想』
◇ 四つのテスト唱和
◇ ゲスト・ビジター紹介
　本日はいらっしゃいません

◇ 1.会長報告　笠倉正弘 会長

朝晩、大分涼しくなりました。秋が早く来そうな気がします。

先般の衆議院選挙で自民党の大敗となり急遽、木村会員に卓話を頼んだところ遠方へ出張中との事でそれがかなわず残念です。又、松崎会員が体調不良とのことで卓話がキャンセルになり早く健康を回復してもらいたいものです。

本日は内騰会員の卓話です、すなわち私と昨日、2780地区財団セミナーに参加してきましたのでその辺の話しをお願い致します。今回のセミナーでは新しい補助金の話が出ましたので注目して聞いて下さい。

その後、鈴木会員増強委員長から9/5（土）に会員拡大の炉辺会議兼暑気払いの説明がありますので宜しくお願い致します。

最後になりますが佐久間G補佐の母上が亡くなられ、先日横須賀カソリック教会でのお通夜に行ってまいりました、ご冥福をお祈りいたします。

◇ 2.幹事報告 菊池　恵　幹事

※ガバナー月信
※例会のお知らせ　　横須賀南・横須賀南西ＲＣ
※「友情」公演のご案内
※三浦市交通安全のつどいの開催について

◇ 3.出席報告

吉田 益夫 委員長

会員総数２７名　本日出席１３名、本日欠席１３名　出席率５０％
ＭＡＫＥ　ＵＰ
笠倉会員、内騰会員、鈴木正孝、吉田益夫会員、各１回により出席率は６５．３％となります。

◇ 4.ニュースの報告

秋本 清道　副会長

笠倉正弘　内騰さん、本日のセミナー報告お願いします。

菊池　恵　先週欠席致しました。本日財団セミナーの報告宜しくお願い申し上げます。

◇ 5.委員報告

交換学生小田つかささん

カウンセラー　芹川直行会員

待望の小田つかささんよりレポートがメールにて届きましたので回覧させて頂いております。ご覧下さい。

交換学生小田つかささん

こんにちは。そろそろ夏休みが明けて、テストや体育祭に向けて、みんな頑張っているころでしょうか。

私はオーストラリアに到着して早くも１ヶ月が経ちました。この１ヶ月は本当にあっという間で、こちらでの生活に慣れるのに必死でした。今はだんだんと、生活のリズムが掴めてきて慣れてきたところです。

今回は、ホームステイや学校（Geelong　College）での学習状況などをお知らせしたいと思います。

＜ホームステイ＞

私は、１年間で５軒のお宅に滞在させていただくことになりました。到着してからの２週間と、帰国前の２週間は、カウンセラー（１年間、私の健康管理やRotaryでの行事・学校での問題などの面倒をみてくれる方）のお宅に滞在します。だから、１年間では６回引越しをします。オーストラリアに到着してからの２週間は、カウンセラーの方のお宅で、学校の制服・教科書・パソコンなどを揃え、到着から５日後には学校に通いはじめました。今は、２軒目のお宅に滞在しています。ホストママは日本にRotaryの留学生として１年間いましたし、ホストブラザーは日本で小学校の先生をして、先週まで夏休みでオーストラリアに帰って来ていました。留学についてよく理解してくれていて、困ったことがあっても、すぐに相談できるので問題なく楽しく暮らしています。学校へは送り迎えしてくれていますが、来週からSchool Busで学校に通うことになりました。

＜Geelong　College＞

学校に通い初めてからの１週間は、なにもかもが横高と違っていて、とても戸惑うことがありました。英語が理解できるのを前提として授業が進められているので、辞書がまだ手放せません。しかし、化学・数学・体育・ダンスは、なんとか着いていけています。、たくさん友達もできて困ったときは手伝ってもらっています。校舎は本当に大きくて今でも道に迷います。そして、学校からパソコンをレンタルしています。

毎時間、パソコンを授業に持って行き、レポートを書いたりインターネットで調べたりしています。このことも私にとって驚きの１つでした。授業はすべて移動授業で横高のように“クラス“と言うものがありません。

＜英語＞

シェイクスピアのマクベスを勉強しているのですが、日本で言うと“古文”のようなものなのでネイティブでも難しいと感じる物語です。学校に通い始めて２日目。１時間の間でマクベスを読んでその感想と要約を書いて発表しなければならなければなりませんでした。辞書を使って意味を調べていたら、先生に“日本語に訳さないで、日本語を見ないで”と言われてしまい、その時大きなショックを受けました。今まで３年間英語を勉強してきて、私の１番好きな教科だったので力を入れて勉強してきましたが、“ここでは全然通用しないんだ”と思いました。それでもなんとか５・６行ほど書いて発表しましたが、私にとってはとても心に残る授業でした。

＜数学＞

こちらの数学は少し日本の数学と比べると遅れてい

て、今は“集合”や“確立”などの数Aの内容を勉強しています。そして、ほぼ毎日宿題が出ます。２週間ほど前にテストをしたのですが、２６問中２３問解けて、A判定をもらえました！先生にも友達にも褒められ、数学については、なんとか着いて行けています。

＜理科＞

今は化学を勉強しています。もう１度、英語でHydorogen（水素）や、Oxygen（酸素）などの原子記号を覚えなおしています。化学もなんとか先生の言っていることが分かってきて、“あぁ！これ勉強した！”と思うことがよくあります。こちらでは、小さな実験が毎時間のようにあります。

先生は、私を他の生徒と同じようにあてます。こちらでは、手をあげて発言するのではなく、すべて先生が名前を読んであてていきます。

初めのうちは聞き返していましたが、最近は、答えられるようになりました。

＜歴史＞

私はUSAの歴史について勉強しています。この教科は先生の言うことを理解するのがとても大変です。USAについて、あまり勉強したことがありませんでしたし、専門的な言葉が出てくるので戸惑うことがあります。先週は“７　Years War”についての小さなプレゼンテーションをしました。なんかいも音読して発音を直してもらって、なんとかなりました。

＜体育＞

体育は私の１番好きな教科です。今はバレーボールをしています。

＜ダンス＞

１人で曲を選び、振り付けを考えて９月１８日に発表します。また、９月１１日には“Foot note Dance”についてプレゼンテーションをします。スポーツには言葉が関係ないので、とても楽しんで授業に参加しています。

＜English Support＞

私は、ほぼ毎日“English Support”と言う授業を受けています。私のように留学している子や、英語を第２外国語としている生徒たちが集まって、宿題をするのを手伝いあったり、簡単な物語を読んで感想を書く練習をしています。そのほかにも、宗教についてや家庭科のような授業を受けています。自分ではまだ実感がありませんが、カウンセラーやホストファミリーから、“英語、うまくなってきているよ”と言われます。毎日忙しいですが、充実していて楽しいです。

残り１１ヶ月、、、一日、一日を大切に、濃い１年にしたいと思います。

読んでいただき,ありがとうございました。

会員増強・拡大委員会　鈴木康仁会員

９月５日（土）１５時より芋畑の雑草取り作業を行います。多数の方のご出席をお願い致します。終了後、引橋『しんべ』にて６時半より、暑気払いを行います。会員拡大についての会合も行いたいと思いますので、雑草取りを欠席の方でも結構ですのでご出席下さい。

◇ **ロータリー財団報告**

財団委員会委員長　内藤　隆之会員

昨日９月２日（水）午後２時から藤沢産業センター８階「情報ラウンジ」に於いて開催されましたロータリー財団セミナーに笠倉会長と共に出席してまいりました。

奥津ガバナーの挨拶、竹内地区ロータリー財団委員長の「ロータリー財団と当地区のＤＤＦ（地区財団活動資金）について：ＷＦ（国際財団活動資金）」のお話の後、講演が行われました。

「ロータリー財団の行方―現在から未来の夢計画へ」という演題でした。

講演者はＲＩ日本事務局財団室長の片岡暎子（カタオカテルコ）さんという方で以前に手続要覧等を何回か翻訳された方だそうです。この講演の内容については後日２７８０地区のホームページに掲載されるとのことで早速今朝アクセスしてみましたが流石にまだ載ってませんでしたので、本日は頭に残っている範囲でお話し、多少間違い等あるかもしれませんので、後日確認してくださいますようお願いいたします。

プロジェクターによりまして要点の説明が行われましたが、書かれたものが手元になかったので最初は写し写ししながらお話を聞いてましたが、はずかしながら初めて聞く用語ばかりでしたのでなにかこう大学の難しい講義を聴いてるような感じをうけましたが。当日配布された「ロータリー財団地域セミナーハンドブック」これは昨日ぎりぎりでセミナーに間に合ったそうですが、これを今朝所々読んで多少理解できたようでが、昨日の今日なので全部は目を通してないのでポイントのみ報告させていただきますのであしからず。

ロータリアンからの寄付は年次寄付（年度内寄付）・恒久基金（寄付金積立方式）・ポリオプラス（使途指定寄付）に分かれる。年次寄付全額は３年間使わない３年後に使用。その投資収益を運営費としていて　全支出の６．３％（四つ星）ちなみにライオンズは８．４％（三つ星）だそうです。
２００７－２００８の会員一人当たりの寄付金について
米国：＄１０１、日本＄１２３、世界＄８２、ちなみに２７８０地区：＄１６０
この講演後の質疑応答において「今日の講演で寄付＄１８０以上というお話が一切出なかったがもっとするべきでは」という質問がでましたが講演者の回答は「当地区は現況、優等生地区なのであえてお話しなかった」とのことでした。
ロータリーの２億ドルのチャレンジについて
２００７・１２にビル・ゲイツ財団ポリオ・プラス・プログラムに１億ドル、更に２億５，５００万ドルの寄付を発表
ＲＩとR財団はこれを受けロータリーの１億ドルチャレンジを２億ドルに変更、募金期間を２０１１－１２年度まで延長した。　現在９，１７０ドル
派遣奨学生の減少著しい
原因
・語学テストが厳しい
・希望大学が指定されない
・奨学金が少ない
ロータリー財団プログラムの柱については以下３点
・国際親善奨学金
・マッチンググラント（特別補助金：２カ国以上のロータリー・クラブが奉仕プロジェクトを実施するもの）
・ＧＳＥ
他のプログラム　ポリオ・プラス・プログラム
未来の夢委員会の提案に基づくプログラムの新補助金制度について
２０１０－２０１１年度よりパイロット地区に参加する地区の場合、補助金プラグラムは以下の２種類だけ。
・ロータリー財団グローバル補助金
・ロータリー財団新地区補助金
各々につき、人道的プログラム・奨学金・ＧＳＥがある
パイロット地区：２０１０－２０１１年度から３年間実施される新補助金制度に参加する地区　世界で１００地区　日本の６地区がパイロット地区
そしてパイロット地区以外の地区がノンパイロット地区
ロータリー財団グローバル補助金
六つの重点分野：平和と紛争予防/紛争解決、疾病予防と治療、母子の保健、水と衛生設備、基礎教育と識字率向上、経済開発と地域開発を支援する。ＤＤＦの５０％以上をこのような持続可能な大規模なプロジェクトに使える。パイロット地区は２０１０－２０１１年度から３年間、他の地区は２０１３－２０１４年度から利用できる。
そしてこの補助金には２種類あり、パッケージ・グラントとクラブ＆地区計画補助金
ロータリー財団新地区補助金
従来の地区補助金ＤＳＧと似ていて、上限がＤＤＦの５０％で、WFを使わないマッチング・グラントのようなものにも、ロータリー・クラブのない国の奉仕プロジェクトにも奨学金、職業研修チーム（ノンパイロット地区の場合、ＧＳＥ）にも使える。
講演終了して１０分休憩の後、質疑応答がありました。
かながわ湘南ＲＣの高木氏より新補助金制度についての質問がありました。
高木氏はご存知のように財団奨学生出身で、今回の制度だとグローバル補助金の場合、以前だとあらゆる分野においても留学先でホストファミリーがついてくれるが、たとえば本日来ている財団学友のある方は音楽専攻だが新制度だとホストファミリーがつかなくなるのはいかがか、参加者に聞いたところ圧倒的にどの分野でもホストファミリーをつけてほしいとの意見は多かった。
質疑応答の後は
財団学友によるアチェ・子供ライブラリー・プロジェクトの報告がありました。
アチェというのはインドネシアの西部、津波の大災害があった地域、それまでも国内で紛争が絶えなかったところです。
はじめに逗子で開催されたチャリティ・コンサートの会計報告、図書館開設事業としてバンダアチェＮＧＯへ１，４９６，０００円これは主に図書を寄贈ということです。
その後プロジェクターにより現地に学友が視察に行った際の写真をもとに報告がありました。学友のお話の最後に、何とか財団とかＮＧＯとか色々活動されてますが、意外とこのような地域には行き届いていないのが現状で、視察してみて現地の方たちからロータリーの活動に対してたいへん感謝されたというのが印象的でした。
その後
小委員会からの以下の報告がありセミナーは終了致しました。
財団増進について
財団奨学金・財団学友について
研究グループ交換について
財団補助金について
世界平和フェローシップについて